

「第2回サンゲツ壁紙デザインアワード」開催

(株)サンゲツは、昨年引き続き「自由な発想の壁紙デザイン」を広く募集する壁紙デザインコンペティション「第2回サンゲツ壁紙デザインアワード」を開催する。

同社では、ブランド理念「Joy of Design」を掲げ、単にインテリア素材を提供するだけでなく、人々がそのインテリア素材を組み合わせ、デザインし、その空間で楽しみ、安らぎを得られる豊かな生活文化を創造することを、社会での役割としている。その企業活動の一環として、昨年「サンゲツ壁紙デザインアワード2017」を初開催し、総数506点の応募が集まるなど注目を集めた。

「第2回サンゲツ壁紙デザインアワード」では、「白い壁紙の常識を真っ白に。」をキャッチフレーズに作品を募集し、大賞(1点/賞金100万円)、優秀賞(1点/賞金50万円)、入選(3点/各20万円)を選出する。

大賞受賞作品は、昨年に引き続き商品化を行うほか、大賞以外の応募作品についても商品化を検討する場合もある。審査は、寶田陵氏(the rangedesign INC. 代表/アーキテクト)、木住野彰悟氏(6D代表/グラフィックデザイナー)、黒田美津子氏((株)Laboratoryy・黒田美津子事務所/インテリアスタイリスト)、そしてサンゲツの安田正介社長(審査委員長)が行う。

審査基準は、

- ① 商品化を前提とした機能的かつ造形的な美しさ
- ② 新規性とオリジナリティ
- ③ テーマに沿ったデザインと、その空間への効果的な影響力
- ④ 提案内容のリアリティと説得力

の4点。

応募期間は、WEBエントリー期間が4月18日(水)～9月14日(金)18時まで。

作品の提出は9月28日(金)(当日必着)まで。

受賞結果は今年11月上旬に公式ホームページで発表予定。

TOSOインテリアビジネスニュース(第704号)より引用